

様

総合資産管理分析

ご家族の状況

昭和23年1月1日	71歳 男性	昭和57年1月1日	37歳 女性
昭和26年1月1日	68歳 女性	昭和59年1月1日	35歳 男性
昭和53年1月1日	41歳 男性		

相続発生時期 一次 0 年後 二次 10 年後

ファイナンシャルゴール

お客様からご回答いただいた財産に係わる目標、ご希望は以下のとおりです。

- ★ 事業承継(経営の承継、財産の承継)対策を成功させたい。
- ★ 不動産による運用管理を充実させたい。
- ★ 次世代、次々世代へ財産を円滑に承継させたい。

家計貸借対照表(現状分析) - 資産負債の全体像の把握 -

まずは、現在おさま、ご家族が保有されているすべての資産と負債を時価で評価して、可視化し、その全体像を把握しましょう。家計貸借対照表を作成することにより、見えざる負債である一次、二次相続未払金が試算され、将来の納税に対し、準備が必要であることを確認しましょう。

(単位:万円)



将来の相続税の納税が家族全体の金融資産から見て可能か否かを分析します

もし今一次相続、二次相続が発生したら預貯金、有価証券、死亡保険金、退職慰労金で相続税が納付困難であることがわかります。

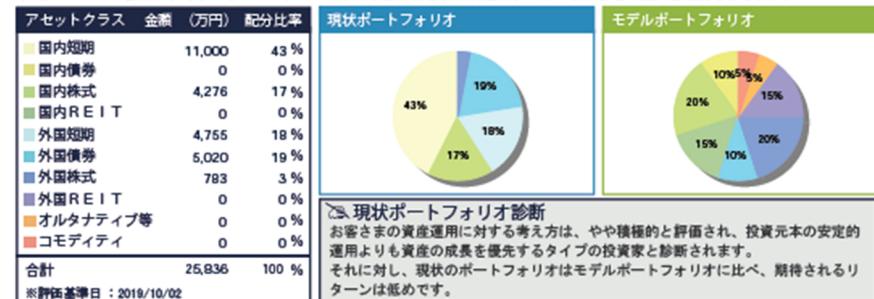
流動比率 95 % 相続税の割合 30.7 %

*一次相続未払額は今一次相続が発生するとすれば、納付することになる相続額の納付予想額です。
 *第二次相続未払額は今一次相続が発生し、その後に二次相続が発生し、法定相続割合で相続する場合の納付予想額です。
 *流動比率(%) ...
 ((預貯金+有価証券+生命保険、年金保険(死亡保険金)+退職慰労金) / (一次相続未払額+二次相続未払額+葬儀費用+短期借入金)) × 100
 *相続税の割合(%) ... (一次相続未払額+二次相続未払額) / 総資産額 × 100

会社名
担当者名

ご家族がお持ちの金融ポートフォリオの分析

お客様がお持ちの預貯金、株式、債券、投資信託を国内外の短期金融資産、株式、債券等のアセットクラスに区分して時価で評価しました。リスク許容度から導かれるモデルポートフォリオとお客様の現在のポートフォリオとの差異を確認しましょう。



現状ポートフォリオ診断

お客様の資産運用に対する考え方、やや積極的に評価され、投資元本の安定的運用よりも資産の成長を優先するタイプの投資家と診断されます。それに対し、現状のポートフォリオはモデルポートフォリオに比べ、期待されるリターンは低めです。

生命保険の分析 (死亡保障の推移)

ご本人さまに万が一のことがあった場合、残されたご家族の保障はどうなるのでしょうか。ここでは現在ご契約の生命保険契約に基づき、ご本人さまに万が一のことがあった場合の保障額の推移について分析を行います。

